

Easyシリーズ

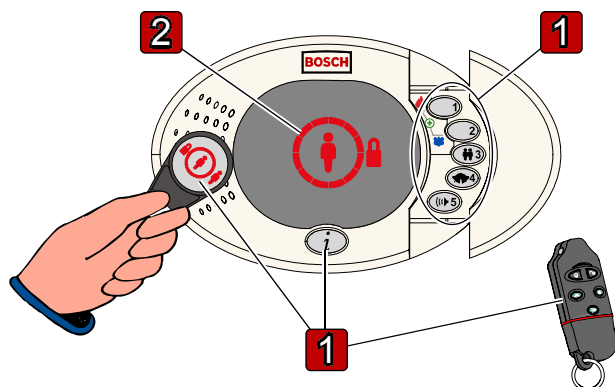


ユーザガイド
侵入アラームコントロールパネル
JP



BOSCH

コントローラの使い方



1 システムをオンまたはオフにする

以下の表からオプションをひとつ選んで、システムをオンまたはオフにします。

コントローラ上のアイコンが赤に変わり、出口猶予が開始してから建物の外へ出てください。

オプション	詳細
	認証タグをかざしてください。コントローラの指示に従ってください。
	[i] ボタンを押してください。コントローラの指示に従ってください。
	パスコードを入力してください。コントローラの指示に従ってください。
	警戒を開始するには、 を押します（外出警戒）。警戒を解除するには、 を押します。キーフォブオプションの詳細については4ページの「キーフォブの使い方」を参照してください。

無効パスコードの入力回数限度

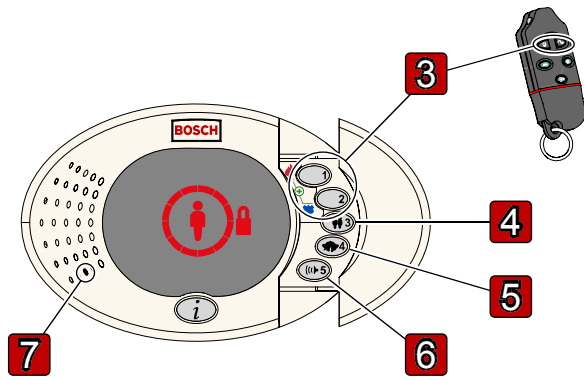
パスワードを適正に入力できる回数は 3 回*です。これを超えると、システムは 3 分間*入力待ちになります。

*これは警備会社が設定します。

2 ディスプレイステータス

ディスプレイ	詳細
	警戒を解除しました。アラームまたは障害はありません。システムをオンにできます。
	警戒が起動されました（在宅警戒）。
	警戒が起動されました（外出警戒）。
	火災または侵入アラームが発生しました。
	警戒を解除しました。
	警戒が開始されました（在宅警戒）
	警戒が開始されました（外出警戒）
	出口猶予中（在宅警戒または外出警戒の起動中）。 コントローラは指定された間隔で残り時間を知らせます。円が一つずつ点灯して出口猶予状況を視覚的に表示します。 警戒が起動される直前の10秒間は、短い間隔で「ピー」という音が鳴ります。 アラームが作動する前に、建物を退出する時間が <u>60</u> 秒間* あります。
	入口猶予（在宅警戒または外出警戒の起動中）。 入口猶予中は、コントローラが短い間隔で「ピー」という音を鳴らします。円が一つずつ消滅して入口猶予状況を視覚的に表示します。 所定時間内にシステムをオフにしなければ、アラームが作動します。 黄色のディスプレイ ：出口猶予の前半 赤のディスプレイ ：出口猶予の後半 アラームが作動する前に、警戒を解除する時間が <u>30</u> 秒間* あります。
	システムに問題があります。セキュリティコントロールのすべての指示に従ってください。
	ひとつ以上の監視エリアに障害が発生しています。コントローラのすべての指示に従ってください。
	障害のある監視ポイントが多すぎます。
	コントローラテストです。アイコンは交互に点滅します。 テスト終了 5 分前に、コントローラが短い「ピーピー」という二重音を鳴らします。

* 警備会社がこれらの時間入力を設定します。



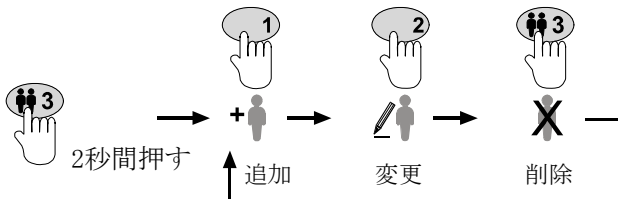
3 緊急ボタン

システム内のこれらのボタンを使用する場合は、警備会社がそれらを事前に有効にする必要があります。

適切な緊急ボタンを2秒間押し続けると、アラームが開始します。

アラーム	アイコン	押すべきボタン	アラームケーデンス	作動中?
火災			パルス	☐
パニック			間断なし	☐
緊急事態			なし	☐
キーフォブパニック	なし		なし	☐

4 ユーザや認証タグ、キーフォブの追加または変更



このシステムは最大22人のユーザをサポートします：

- **ユーザ1**：マスターユーザです。デフォルトのパスコードは 1234(55)* です。
- **ユーザ2から21**：システムユーザです。
- **ユーザ22**：強制ユーザです。強制ユーザのパスコードを使ってシステムをオフにすると、システムが強制レポートを送信します。認証タグやキーフォブを強制ユーザに割り当てることはできません。警備会社が強制ユーザを起動させる必要があります。

*すべてのパスコードの長さはシステムの設定により4桁または6桁となります。

コントローラのすべての指示に従ってください。

ユーザメニューのオプション一覧については、5ページを参照してください。

ユーザ権限

機能	マスターユーザ	ユーザ2~21
システムをオンまたはオフにする	√	√
双方向音声セッション ¹ を開始する	√	√
システム管理メニューにアクセスする ¹	√	√
パスコードを変更する	√	√
ユーザメニュー ² にアクセスする ²	√	

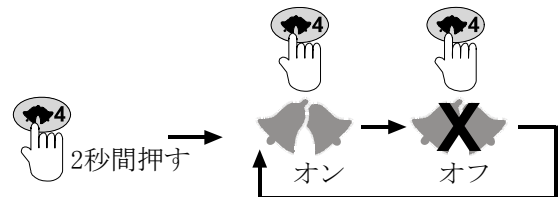
¹ 詳細については5ページの「電話メニュー」を参照してください。

² ユーザメニューへの自由なアクセスはマスターユーザに限定されます。ユーザ 2 から 21 は自分のパスコードの変更のみ行えます。詳細については5ページの「電話メニュー」を参照してください。

5 チャイムモード

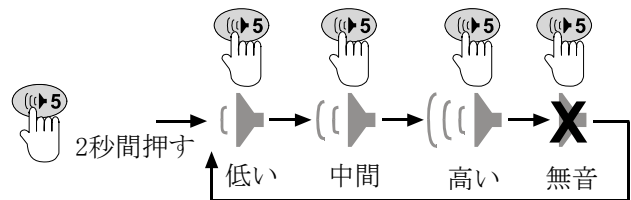
チャイムモードがオンの場合、システムがオフでも周辺監視エリアに障害が発生すると、コントローラが必ずチャイム音を発します。

チャイムモードをオンまたはオフにするには：



6 ボリューム調整

コントローラのボリュームを調整するには：



無音コントローラ：出口猶予および入口猶予の音が消えます。

7 オーディオインターフェース

双方向音声セッション中に電話で話す場合は、この付近に話しかけてください。

電話セッションを開始する

住宅内外の電話からセキュリティシステムの機能を実行できます。

利用可能なオプションについては5ページの「電話メニュー」を参照してください。

自宅の電話

[#] ボタンを3回押してください。システムが建物外の電話回線を不通にし、パスコードを要求します。

建物外の電話

1. 建物内の電話番号にかけます。
2. 人あるいは留守番電話機能につながったら、[*] ボタンを3回押して電話を切り、システムにアクセスします。
3. 指示に従ってパスコードを入力してください。
人あるいは留守番電話機能につながらない場合、予め設定された回数の呼び出し音の後にシステムが応答します。

インストーラアクセスの起動 (マスターユーザのみ)

- ☐ 私のシステムはこの機能に対応します。

警備会社の従業員にシステムへのアクセスを許可する場合にこのオプションを使用します。

コントローラから

マスターユーザのパスコードを入力して、システムがタイムアウトになるまで待ちます。

マスターユーザの認証タグを使用する場合は、システムが「警戒を解除しています」とアナウンスするまで認証タグをかざしてください。

電話メニューから

1. 電話メニューから[3]を押して、システム管理を選択します。
2. [3]を押してシステムテストのメニューを選択します。
3. [6]を押して、インストーラアクセスを作動させます。

インストーラアクセスの解除

インストーラのシステムへのアクセスを解除するには、警戒を開始します。

キーフォブの使い方

キーフォブボタンの設定 (オプション)

警備会社は下表に記入する必要があります。各ボタンにつきオプションを1つだけ選択してください。

ボタンのオプション	ボタンの割り当て	
		
システムのステータス (デフォルト)	☐	☐
警戒の開始 (在宅警戒)	☐	☐
警戒の開始 (カスタム)	☐	☐
出力をオンまたはオフにする	☐	☐
出力を2秒間オンにする	☐	☐

サイレントパニックの操作

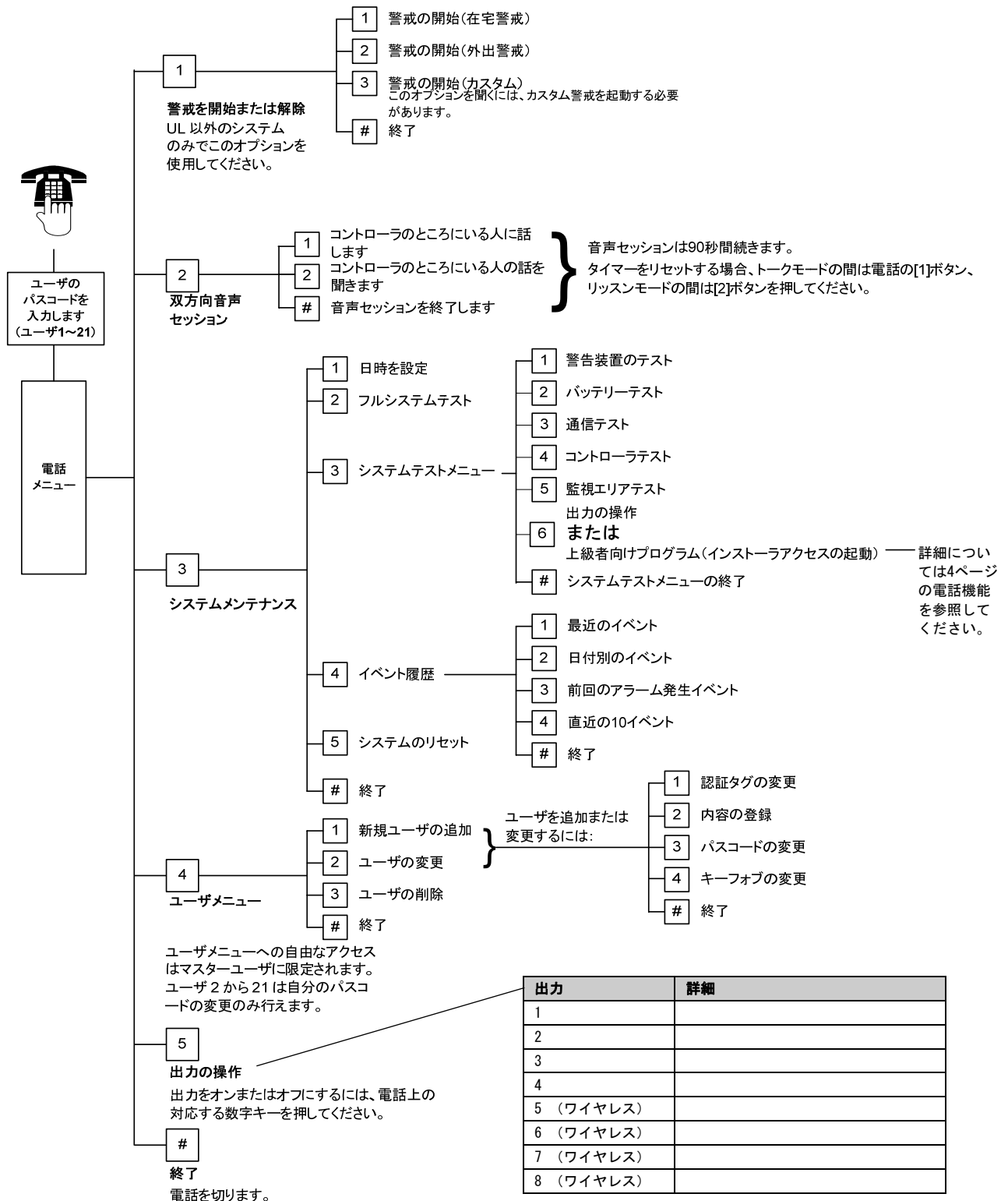
- ☐ 私のシステムはサイレントキーフォブパニックを送信します。

キーフォブLEDのステータス

ステータス	詳細
赤と緑が交互に点滅	キーフォブボタンが押されていました。LEDは点滅をやめるか、この表に記載されている別のステータスのいずれかが発生します。
赤が早く点滅	システムがアラームを起動しているか、サイレントパニック機能が使われました。
赤がゆっくり点滅	出口猶予中 (システム使用中または待機中)。
赤が点灯	警戒が開始されました (在宅警戒または外出警戒)。
緑が早く点滅	警戒の開始中にエラーが発生しました。警戒は予想通りには起動しません。
緑がゆっくり点滅	警戒を開始できません。システムステータス用にプログラムされているボタンも、同じステータスを表示しています。
緑が点灯	警戒が解除されましたが、再度開始できます。システムステータス用にプログラムされているボタンも、同じステータスを表示しています。
赤は点灯、緑はゆっくり点滅	継続的に、または2秒間、出力をオンにするため、  か  のいずれかが押されました。
緑は点灯、赤はゆっくり点滅	出力をオフにするため、  か  のいずれかが押されました。

電話メニュー

電話メニューにアクセスする前に、電話をかける必要があります。電話をかける方法については4ページを参照してください。



アラーム音の中止

アラームが作動すると、システムは 30 秒間待機した後警備会社にアラームレポートを送信します。警備会社が猶予時間を調整できます。

猶予時間中にアラームを切断するには、認証タグをかざしてパスコードを入力するか、キーフォブの  を押してください。アラーム音は中止します。

アラーム切断は 30 秒* 以内に実行してください。

アラームが作動し、猶予時間終了時にシステムがアラームレポートを送信した場合は、認証タグをかざしてパスコードを入力するか、キーフォブの  を押してアラームキャンセルレポートを送信します。アラーム音は中止します。

アラームキャンセルレポートは 5 秒* 以内に送信してください。

* 警備会社がこれらの時間入力を設定します。

アラームと障害イベント

システムをオフにするかリセットするまでに、最高 3 回のアラームや障害イベントを送信できます。

これは警備会社が設定します。

ユーザパスコードと管理エリアの説明

ユーザパスコード

ユーザ0 = インストララ

ユーザ	暗証番号	詳細	ユーザ	暗証番号	詳細
1 (マスター)			12		
2			13		
3			14		
4			15		
5			16		
6			17		
7			18		
8			19		
9			20		
10			21		
11			22 (強制)		

監視エリア

監視エリア0 = 内蔵タンパースイッチ入力

監視エリア番号	詳細	監視エリア番号	詳細
1		17	
2		18	
3		19	
4		20	
5		21	
6		22	
7		23	
8		24	
9		25	
10		26	
11		27	
12		28	
13		29	
14		30	
15		31	
16		32	

システム情報

電話線占領



セキュリティシステムには、電話線占領機能が含まれます。警備会社は、電話線を通じて警備会社へレポートを送信するようシステムを設定できます。システムが警備会社へレポートを送信している間は電話を使うことができません。

警備会社がレポートを受け取ることができない場合、システムが警備会社との通信を試みようとするため、最大20分ほど電話サービスが利用できなくなる可能性があります。

電話サービスが妨害されると、他に送信方法がない限り、セキュリティシステムはレポートを警備会社へ送信できません。

制限事項

最先端のセキュリティシステムでも、侵入、火災、もしくは自然災害を確実に防止できるわけではありません。どのようなセキュリティシステムも以下のような様々な理由で損傷が生じたり、警告できない可能性があります。

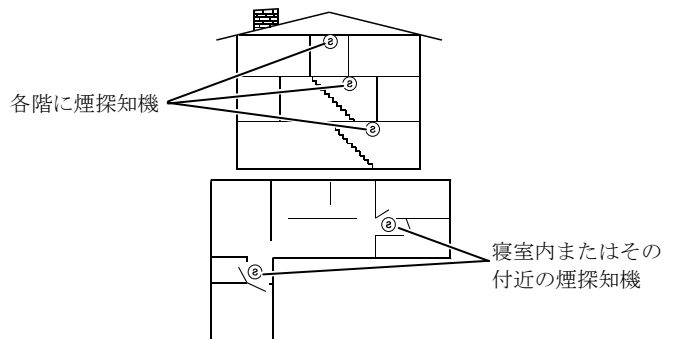
- サイレンもしくはホーンが建物内の人のいない場所や閉鎖されていることが多い場所など、人の聞こえる範囲外にあった場合、意図された保護は提供されません。
- 侵入者が警戒されていないゾーンから侵入した場合、システムは侵入を検出できません。
- 侵入者がシステムのすべてまたは一部を擦り抜けた、切断する技術的な手段を持っていた場合、侵入は検出されません。
- AC電源がオフで、予備バッテリーも装備されていないか切れている場合、探知器は侵入を検出できません。
- 煙感知機は煙突、壁、屋根、もしくはドアでふさがれた場所の煙は検出できません。また、感知機が設置されている階とは別の階で発生した煙や火災も検出することはできません。爆発、不法に保管された可燃性物質、過負荷状態の電気回路、あるいは他の危険な状況による火災が生じた場合、煙感知機は警告を発しない恐れがあります。
- 電話回線が使用できない場合、セキュリティシステムから警備会社へのレポートは送信されません。電話回線は特定の方法に対しては損なわれやすくなっています。
- 不適切な管理とテストの未実行がアラームが作動しない最も一般的な原因です。システムのコンポーネントがすべて適正に作動することを確認するため、システムを定期的にテストし、各地の法規に従って点検してください。

セキュリティシステムがあると保険料を減額できるかもしれませんが、システムは保険の代わりにはなりません。警告機器は人命や財産の損失を補償するものではありません。

火災安全と避難

住居の火災は事故死の第一の原因です。火災による死亡のほとんどは、やけどではなく、建物内の人が夜間寝ている間に煙または有毒なガスにまかれて窒息することが原因となっています。この危険性を減らすため、次のガイドラインに従ってください：

- 火災の原因となるものをできる限り少なくします。寝タバコ、ガソリンなどの可燃物液体による掃除、子供だけの留守番、および安全でない祝日の飾り付けは、住居火災でよくみられる原因です。
- 火災アラームシステムをインストールしましょう。このシステムの主要な目的は、危険についての警告をできるだけはやく人々に伝えることです。
- 各地の法規で定められているすべての箇所に煙感知器を設置してください。



- 避難訓練を実施しましょう。火災を検知してからそれが危険な状況になるまでにはほとんど時間がないため、家族全員が避難経路に沿って迅速に避難する方法を理解しておく必要があります。
- 避難経路には主要経路と代替経路を作ってください。階段の吹き抜けや廊下は火災の際に通れなくなる恐れがあるため、寝室の窓から逃げる事も避難経路のひとつとしておくべきです。寝室が2階以上の階にあり、安全に建物の外に降りられる手段がない場合は、それを取り付けておいてください。
- 近所の家など、家から離れた場所に集合するように取り決めておいてください。そうすれば全員の状態を把握できます。
- アラームが誤作動した場合は、ベルを切って検知器をリセットし、緊急事態が発生していない旨をただちに警備会社へ通知してください。

EN50131 準拠

EN50131-1 Security Grade 2, Environmental Class II

論理キー	一つしかない組合せの数
6桁のパスコード	15,625
認証タグ	42,000,000,000
キーフォブ	2,800,000,000,000,000

* 1～5までの数字のみを使用できます

テクニカルサポートを受けるには、以下までご連絡ください：

© 2006 Bosch Security Systems, Inc.
F01U025088B



BOSCH